



平成 26 年度 協働のまちづくり活動支援事業 事業報告会

2月14日に開催された協働のまちづくり支援事業、事業報告会のレポートです。昨年6月の公開選考会で選定された7つの市民活動団体が、アイデアと専門性を活かした1年間の活動内容を発表しました。(以下、発表順で要約)

会場の様子



熱心に聞き入る参加者たち



コメンテーター(左から千里氏、宮本氏、阿部氏)

<報告会総評(要約)> 千里 政文 氏 (北翔大学大学院 教授)

皆さんの参加、本当に有難うございます。6月の選考会から選考委員、コメンテーターとして参加させていただきました。限られた時間の中で、多くの方が関わりあいながら、予定したものをこなし、活動されたと感じています。

ひとつ、反省点があるとすれば、いかに情報を伝えるかということがあると思います。情報を共有するということが本当に難しいことだと感じますが、皆さん頑張って活動されている中で、その範疇だけに収まってしまって、市民に取組が伝わらないという部分があると思います。探せば見つかる情報を伝えていくことが重要です。各団体、更に広報も含めて頑張ってほしいと思います。

今年度も皆さんの力で、「協働のまちづくり活動支援事業報告会」ができたことに感謝申し上げ報告会総評といたします。

江別子ども劇場

事業名:「江別子ども演劇クラブ」

演劇を通して、子どものより豊かな表現力を身につけることと、人とのコミュニケーション能力を高めてもらうことを目的に立ち上げた「江別子ども演劇クラブ」の活動です。

子どもたちは11月9日のえぼあホールで初舞台を経験し、コミュニケーション能力が向上しました。今後は広報活動を充実させ、メンバーを増やし、継続的な活動を推進していきます。



あおむし人形劇団

事業名:「『楽しい!』と輝いてくれる目を求めよう」 ～手作り人形劇の楽しさを～



子どもたちだけでなく、大人も一緒に楽しんでくれる質の高い手作り人形劇を目指し、地域での公演先の拡大を図り、たくさんの“輝く目”に出会うことができました。公演回数は19回。人形劇という身近な文化に触れていただきながら、多くの出会いと交流が生まれ、それが今後の活動の大きな励みとなっています。

江別創造舎 + (のっぽろ七丁目放送局)

事業名:「江別カルタで迎える江別物語2014」

1. 江別カルタを活用した地域文化振興活動
2. 江別カルタを文化・歴史の伝承ツールとして活用
3. 世代間を超えた交流ツールとして活用

目的として掲げた上記各項目の実践としてのっぽろ七丁目放送局と連携し、イベント「江別カルタで迎える江別物語2014」を開催しました。今後も地域活性化に向けて、多方面の方たちとの連携を積極的に推進していきたいと考えています。

